



## ご取材（告知）のお願い

あの日の記憶を、子どもたちの“いのち”を守るかに

# 絵本『川がパンクしちゃった！ もりのがっこうとどうぶつたち』刊行

幼児期から育む防災意識——紀伊半島の教訓から全国の親子へ

2011年に発生した紀伊半島大水害で甚大な被害を受けた那智川流域。

その河川氾濫の実際の経験をもとに、災害科学と絵本の力を融合させた新たな防災教育絵本が誕生しました。

このたび、和歌山大学災害科学・レジリエンス共創センターの後 誠介客員教授が企画し、ライターの黒川なお氏（新宮市出身）、イラストレーターの吉田葉子氏の協力により、親子向け防災絵本『川がパンクしちゃった！ もりのがっこうとどうぶつたち』が完成、刊行される運びとなりました。

### 【絵本概要】

書名：『川がパンクしちゃった！ もりのがっこうとどうぶつたち』

企画：後 誠介（和歌山大学客員教授）

文：黒川 なお（ライター／新宮市出身）

絵：吉田 葉子（イラストレーター）

発行：はる書房

発売予定：2025年6月上旬（地域書店先行）、6月中旬（全国流通）

### 【誕生の背景】

後教授は、2022年9月に新宮市の幼稚園を訪れ、防災をテーマにした対話活動を実施。その際、園児たちが熱心に聞き入る姿勢に強く手ごたえを感じ、「大人だけでなく、子どもたちの心にも届く防災教育の必要性」を痛感しました。そこで、紀南地域の被災経験をモデルにしつつも、全国の親子に共有できる一般化された物語として絵本化を進め、今回の刊行に至りました。

絵本は、森の動物たちと「もりのがっこう」のふくろう校長先生を主人公に、自然災害の急変をどう察知し、どう逃げるかをストーリー仕立てで描きます。親子で楽しく読みながら、“気づく力”と“行動する力”を育む内容となっています。

---

**【配布と普及に向けた取り組み】**

読書活動団体との懇談・献本会を以下の日程で開催予定です。

- ・新宮市立図書館 6月11日(水) 11:30～
- ・那智勝浦町立図書館 6月11日(水) 13:30～

新宮市・那智勝浦町内の読み聞かせ団体(計9団体)と、教育委員会・校長会代表に絵本の趣旨を説明し、各公立幼稚園・小中学校(各市町10校)への献本を予定しております。地域ぐるみで、幼児期からの防災意識醸成を支援してまいります。

---

**【販売情報】**

・ウェブ書店：予約受付中

・書店店頭：

- ①6月第1週より 和歌山市・田辺市～新宮市地域で先行販売
- ②6月第3週より 御坊市・日高地域～紀の川流域・全国へ拡大予定

本件に関する取材・写真撮影等も歓迎いたします。

今後とも地域に根ざした防災教育の推進にご理解・ご協力をお願い申し上げます。

**本件についてのお問い合わせ**

国立大学法人和歌山大学

担当：災害科学・レジリエンス共創センター

木下 顕次

〒640-8510 和歌山市栄谷930

電話：073-457-7558 FAX：

メール：[saigai@ml.wakayama-u.ac.jp](mailto:saigai@ml.wakayama-u.ac.jp)